

事業名：自然エネルギーの普及モデル構築等支援委託業務		
会議名称	第2回太陽光専門部会	
開催日時	平成24年1月20（金曜）	13：00～15：00
実施場所	飯田市 りんご並木のエコハウス 2階会議室	
参加者	・西原部会長 ・栗田副部会長 ・小池会計 ・岡野：ネクストエナジー ・藤井：東洋計器 ・佐藤：KIS ・柳沢：山洋電気 ・征矢野：ネクストエナジー ・溝上 ・藤川：上田エネルギーシフト ・中村：サンジュニア ・山本 ・宮下：事務局次長 ・武居 合計14名	
記録者	武居 辰三(事務局コーディネーター)	
〈配布資料〉 太陽光専門部会運営方針 A4（1枚）太陽光部会工程表 A4（1枚） エネルギーシフト相乗りくん説明資料 A4（5枚） かながわソーラーバンク参考資料 A4（2枚）		
実施内容		
1）太陽光専門部会運営方針の整理と承認 太陽光部会の目的・活動目標を太陽光専門部会運営方針資料での確認 平成23年度の活動予定 ・次回第3回太陽光専門部会は、長野県創業支援センター松本センター自動追尾型架台付太陽光の研修の後、松本市で部会開催予定している。 ・新興マタイ株式会社の研究塔での太陽光パネルの研修を兼ねて、佐久市で部会開催も合わせて検討する。 担当：小池・武居 ・次回に太陽光発電の仕組みが解る説明パネル等をお持ちの方は準備（用意）してもらう。 平成23・24年度事業計画（工程表にて確認検討） 普及啓発委員会 栗田委員長 □補助金・地域普及率の資料作成→資料作成、メールにて配布予定 □基本的な太陽光発電の仕組みを理解されていないのが現状で、地域で説明できる人を育成し、パネル等を使って説明していく。 □地区別発電量を過去の実績データを使って、ホームページにて掲載していく→各地域協議会と連携協力してデータを収集していく。 製品開発委員会 □角度可変架台の研究 □県内メーカーの協力体制（県内企業協力態勢で新しい太陽光関連商品開発） 今回、（株）ケー・アイ・エス（佐久市で太陽光発電の製造から販売まで手掛けている会社です）。栗田さんの紹介で佐藤さんが参加してくださいました。 ビジネスモデル委員会 □グリーン価値利用の検討 ・ESCO事業、グリーン電力証書、国内クレジット等々を使って、企業のCSRとして使ってもらう仕組みづくりの構築をする。 ・認証機関を通さずに企業・公共施設に使ってもらう仕組みづくりの構築をする。 □上田市民エネルギー「相乗りくん」のモデル事業の検証と太陽光部会協調する。		

2) 上田市民エネルギー(NPO 申請中)「相乗りくん」の説明発表

仕組みの概要は、日当たりのよい屋根を持つ屋根オーナーに屋根を提供する。
 ⇒社会に自然エネルギーを増やす協力ができ、12年後にそのパネルが自分のものになる。
 ⇒屋根にパネルを相乗りさせてもらうパネルオーナーさんに、パネル代金を支払う。

〈質疑・応答より〉

Q：後から設置する場合、パワーコンディショナーが新たに必要となると思うが。

A：設置費用の設定値の中に含めている。

Q：一軒ずつグリーンメーターに類似するものをつけるのか。

A：屋根オーナーとしてひとつにまとめてみている。ただし物件ごとの発電量の把握は必要なので、課題の一つになっている。

Q：発電量が個々に違うが、パネルオーナーさんの支払いも個々に違うのか。

A：顔がみえた方がいいので、屋根オーナーとパネルオーナーのマッチングはするが、リスクを軽減するため、全体で計算している。

Q：税制面、法律上なにか問題になっていることはあるか。

A：贈与税がかからないように信託契約を採用している。法律上の問題は、現在詰めている。

3) 「かながわソーラーバンク」の説明

神奈川県が行っている「かながわソーラーバンク」スキームの参考資料をもとに説明解説があった。

4) その他

太陽光部会を行う前に、11時～12時の間、メガソーラーいいだの見学を行った。
 大雪の為、参加者は8名で、架台・現在の発電量・パワーコンディショナー等々の設備を見ることができた。

また、第2回太陽光専門部会から東洋計器株式会社・山洋電気株式会社にも参加していただけるようになった。

記録写真



〔太陽光部会〕



〔メガソーラーいいだの見学〕